

第 27 地球環境シンポジウム

主催：土木学会地球環境委員会

■開催日程：2019 年 8 月 27 日～29 日

■開催会場：富山国際会議場（〒930-0084 富山市大手町 1 番 2 号）

TEL：（代）076-424-5931 FAX：076-493-7170

■会場案内



JR 富山駅よりお越しいただく場合

- ✓ バス・・・約 5 分「城址公園前」下車 徒歩 3 分バス
- ✓ 徒歩・・・城址大通りを南へ約 15 分徒歩
- ✓ 市内電車（セントラム）・・・約 7 分「国際会議場前」下車

富山きときと空港よりお越しいただく場合

- ✓ タクシー・・・約 20 分タクシー
- ✓ バス（空港連絡バス）・・・約 25 分「^{そうがわ}総曲輪」下車 徒歩 2 分バス

【全体プログラム概要】

日付	時間	2階多目的会議室 203/204	3階大ホール・ホワイエ
8月27日 (火)	9:00	開会式	
	9:15~11:15	「大気循環・温暖化 1」	
	11:30~12:00	「大気循環・温暖化 2」	
	12:00~13:15	昼食休憩	
	13:15~14:45	「大気循環・温暖化 2」 続き	
	15:00~16:45	「地球環境」(English)	
	17:00~18:15	「環境システム 1」	
8月28日 (水)	9:00~10:30	「環境システム 2」	
	10:30~11:30		ポスターセッションコアタイム
	12:30~		一般公開シンポジウム開場
	13:00~17:30		一般公開シンポジウム
	18:00~20:00		懇親会
8月29日 (木)	9:00~11:15	「流域圏」	
	11:30~12:00	「海洋・沿岸域」	
	12:00~13:15	昼食休憩	
	13:15~14:45	「海洋・沿岸域」 続き	
	15:00~16:45	「水物質循環」	
	16:45~	閉会式	

※本年度は、議論を活発化させるためシングルセッションといたしました。

- 発表時間：研究論文、研究報告ともに 10 分（発表）+5 分（質疑）です。
- 発表番号：A- 研究論文、BO- 研究報告（口頭発表）、BP- 研究報告（ポスター発表）
- 口頭発表に用いるノートパソコンは発表者をご準備ください。
- ポスターパネルは下記の通り（縦 90 cm×横 210 cm の横長）にご準備ください。



口頭発表プログラム (Oral Presentation)

会場：2 階多目的会議室 203/204

8月27日 (火) 9:15-11:15

「大気循環・温暖化1」(座長：峠 嘉哉 (東北大学))

A1	2018年台風21号の疑似温暖化実験による台風の風雨の将来変化 井上 史也 (MS&AD インターリスク総研株式会社)
A2	2018年台風21号による高潮の再現と温暖化に伴う将来変化予測 越前谷 渉 (MS&AD インターリスク総研株式会社)
A3	気候変動による洪水被害に対する緩和策と適応策の評価 山本 道 (東北大学)
A4	大量アンサンブルデータを用いた十勝川流域における8,9月の大雨要因の将来変化の分析 星野 剛 (北海道大学)
A5	深層学習を用いた降水短期予測における数値気象モデル出力補正手法の構築 倉上 健 (山梨大学)
A6	ディストロメータを用いた海上における2013年夏季の降雨観測 岡地 寛季 (北海道大学大学院)
BO1	気象予測への活用に向けた日本全域の人工排熱量分布推定に関する検討 相馬 一義 (山梨大学)
BO2	全球水資源モデルを利用した世界水リスク評価ツールの開発に向けて 花崎 直太 (国立環境研究所)

8月27日 (火) 11:30-12:00/13:15-14:45

「大気循環・温暖化2」(座長：相馬 一義 (山梨大学))

A7	農業分野における気候変動適応技術の地域間での波及要因の事例分析 馬場 健司 (東京都市大学)
A8	スキー場の経済的価値と温暖化による被害の推計 供田 豪 (名城大学大学院)
昼食休憩	
A9	日本を対象とした将来シナリオのデータベース化とその特徴の分析 越智 雄輝 (株式会社イー・コンサル)
A10	気候変動による全球規模経済影響のエミュレーション手法の試作と評価 高倉 潤也 (国立環境研究所)
A11	全世界の波及的な効果を考慮した海面上昇によるマクロ経済影響評価 西浦 理 (京都大学)
A12	市町村別家庭部門CO2排出量推計モデルの改良-欠測データ処理と非線形回帰の適用-

	石河 正寛 (国立環境研究所)
BO3	温暖化対策による CO2 排出削減量推計ツールの開発 松本 貴志 (一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)
BO4	普及啓発事業による CO2 削減効果に関する調査報告 松本 美紀 (一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)

8月27日(火) 15:00-16:45

「地球環境」(座長:河村 明(首都大学東京))

A13	STORM RUNOFF ANALYSIS BY GENERALISED STORAGE FUNCTION MODEL SARITHA PADIYEDATH GOPALAN (首都大学東京大学院)
A14	HIERARCHICAL STRUCTURE OF THE BARRIERS TO INTEGRATED FLOOD RISK MANAGEMENT IN METRO MANILA, PHILIPPINES BY INTERPRETIVE STRUCTURAL MODELLING APPROACH JEAN MARGARET R. MERCADO (TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY)
A15	RAINFALL AND RESERVOIRS SITUATION UNDER THE WORST DROUGHT RECORDED IN THE UPPER CHAO PHRAYA RIVER BASIN, THAILAND SHINGO ZENKOJI (TOYAMA PREFECTURAL UNIVERSITY)
A16	ESTIMATING SPATIAL AND TEMPORAL SNOW DISTRIBUTION USING NUMERICAL MODEL AND SATELLITE REMOTE SENSING IN THE WESTERN HINDUKUSH-HIMALAYA REGION ABDUL HASEEB AZIZI (NIHON UNIVERSITY)
A17	ASSESSING NDVI BASED PHENOLOGY IN DIFFERENT FIRE SEVERITIES IN THE KAMAISHI 2017 FOREST FIRE GRACE PUYANG EMANG (TOHOKU UNIVERSITY)
A18	PERIODIC APPEARANCE OF SCUM AND SPATIAL DISTRIBUTION OF ODOR OF AIR, WATER AND SEDIMENT IN URBAN ESTUARIES JOAN CECILIA CASILA (TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY)
A19	IMAGE ANALYSIS BY USING SMARTPHONE FOR THE APPLICABILITY OF ARSENIC TEST KIT THAN HTIKE OO (TOYAMA PREFECTURAL UNIVERSITY)

8月27日(火) 17:00-18:15

「環境システム1」(座長:立花 潤三(富山県立大学))

A20	バングラデシュ沿岸部における三角型太陽熱淡水化装置(TrSS)の造水シミュレーション 加藤 隼也 (福井大学大学院)
A21	降水貯留水の緊急生活用水への適応性検討

	千田 眞喜子 (花園大学)
A22	地中熱ヒートポンプシステムの間接型地中熱交換器必要長さ全国 500 m グリッド算定と評価 阪田 義隆 (北海道大学大学院工学研究院)
A23	兵庫県の発電施設における自然災害被災リスクの定量評価 宇野 宏司 (神戸市立工業高等専門学校)
A24	使用済み小型家電の排出実態の把握と小型家電リサイクル促進への取り組みの提案 能登 大貴 (滋賀県立大学)

8月28日(水) 9:00-10:30

「環境システム2」(座長:中村 秀規(富山県立大学))

A25	相対的リスク回避度を考慮した幸福度調査による統計的生命価値の属性別計測 森 龍太 (名城大学都市情報学部)
A26	緑のカーテン実施の意思決定プロセスの分析-街なかの緑のカーテンの知覚の影響- 村上 一真 (滋賀県立大学)
A27	地域の自然資源の価値の維持のために望まれる保全活動主体の分析-早崎内湖自然再生事業を事例として- 村上 一真 (滋賀県立大学)
A28	食料廃棄物削減目標を達成することによる社会・経済・環境への副次的影響 櫛部 航 (京都大学大学院工学研究科)
A29	確率計画モデルにおける将来的不確実性の構造の改良-エネルギーシステム計画問題を対象として- 立花 潤三 (富山県立大学)
A30	アジアにおける低炭素技術投資の見通し 藤森 真一郎 (京都大学)

8月29日(木) 9:00-11:15

「流域圏」(座長:呉 修一(富山県立大学))

A31	橋梁部に堆積した杉流木に関する水理模型実験 西脇 遼 (秋田大学)
A32	降雨流出における降雨の空間分布の不確実性が河川流量・水位に与える影響に関する研究 小山 直紀 (中央大学)
A33	モデル作成が容易な洪水時河川水位モデルの提案とハイドログラフ再現性の検証 鈴木 貴志 (株式会社富士通研究所)
A34	馬場目川を対象とした河道内砂州の挙動に関する検討 藤澤 尚矢 (秋田大学)

A35	庄川における降雨流出・洪水氾濫解析と可能最大洪水時の利賀ダムの影響評価 尾島 由利香（富山県立大学）
A36	ベンチマークバーチャルハイエト・ハイドログラフを用いた深層学習による都市流出モデルのエミュレーション 藤塚 慎太郎（(株)建設技術研究所東京本社）
A37	避難支援情報の生成を想定した Deep Learning 応用による河川モニタリングシステムの提案 —茨城県水戸市沢渡川を対象として— 塙 翔一郎（茨城大学大学院）
A38	裸地小流域を対象とした UAV による地表面温度の連続観測と放射量・土壌水分量比較 峠 嘉哉（東北大学）
A39	UAV を用いた河道地形測量手法の検討 高橋 剛一郎（富山県立大学）

8月29日（木）11：30－12：00／13：15－14：45

「海洋・沿岸域」（座長：坪野 考樹（電力中央研究所））

A40	全球堤防データを用いた浸水被害額推計に関する基礎的検討—東京湾および伊勢湾を対象として— 箭内 春樹（茨城大学）
A41	海面上昇による浸水影響及び防護策による適応効果評価 土田 晃次郎（茨城大学）
昼食休憩	
A42	海面上昇に対するグリーンインフラによる適応効果と費用の検討 熊野 直子（茨城大学）
A43	海岸保全施設整備と防災移転の費用便益分析を通じた津波減災のあり方の検討—大槌町と浜松市を事例として— 山本 知広（東京大学大学院）
A44	ニューラルネットワークを用いた高潮の早期損害推定手法の検討 久松 力人（インターリスク総研）
BO5	海洋における福島第一原子力発電所事故由来 放射性物質の長期動態 津旨 大輔（一般財団法人電力中央研究所）
BO6	大量マイクロプラスチックの主要な漂着・流出場所と化す砂浜海岸の実態評価～関東沿岸域での調査を踏まえて～ 山口 晴幸（元防衛大学校）
BO7	ローカル環境認証の事例“Salmon-Safe”と サンゴ礁の保全・再生への適用に関する一考察 宮本 善和（中央開発株式会社）

8月29日(木) 15:00-16:45

「水物質循環」(座長: 畠 俊郎 (富山県立大学))

A45	地下水湧出に伴う栄養塩負荷量の推定 - 福岡市今津干潟を事例として - 広城 吉成 (九州大学)
A46	相関係数マトリクスと主成分分析による水道水の硝酸態窒素濃度に対する気温・降水量・河川流量の影響 千田 真喜子 (花園大学)
A47	遮光による雨水調整池水質のアルカリ化抑制 朝倉 宏 (長崎大学)
A48	電解法を用いた温泉排水からのフッ素除去とそのメカニズム 今井 裕規 (富山県立大学)
A49	サトウキビ栽培における渇水対策としての浅層地下水利用と生産ポテンシャル評価 吉田 貢士 (茨城大学)
A50	確率過程論に基づく上向き長波放射量の射出率に不確実性を考慮した湖沼水温推定手法の提案 綿貫 翔 (中央大学)
BO8	尾駱沼における海水淡水の流出入量計測 坪野考樹 (一般財団法人電力中央研究所)

ポスターセッション (Poster presentation)

会場：3階ホワイエ

コアタイム 10：30～11：30 (8：30 から設置可能)

BP1	複数の気候データに基づいた降雨極値推計と土砂災害警戒区域のリスク予測の検討 鈴木 皓達 (福島大学共生システム理工学研究科)
BP2	UAV を用いたダム貯水池に浮遊する水面上部の捕捉流木群形状復元 和具 麻里子 (株式会社新星コンサルタント)
BP3	富山湾における寄り回り波の予測手法の構築と温暖化の影響評価 八木 隆聖 (富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科)
BP4	IMPACT OF LAND USE CHANGE, LAND SUBSIDENCE AND CLIMATE CHANGE ON FLOOD INUNDATION IN JAKARTA, INDONESIA SHUICHI KURE (TOYAMA PREFECTURAL UNIVERSITY)
BP5	富山規制地域を対象とした非定常3次元地下水モデルの水理パラメータの同定 山川 夏葵 (富山県立大学)
BP6	早月川扇状地における冬季の地下水と河川水の水質特性 松浦 拓哉 (富山県立大学大学院)
BP7	降雨予測に基づく新しい洪水リスク評価 ～渋谷川を例として～ 青木 啓祐 (中央大学大学院)
BP8	二十偏波フェーズドアレイ気象レーダに基づく 降雨予測手法を導入した洪水予測に関する研究 青木 啓祐 (中央大学大学院)
BP9	ミュー粒子を利用した探査技術の河川堤防への適用へ向けた考察 福田 竜平 (中央大学)
BP10	タイ国 Chao Phraya 川下流域における溶存酸素の季節変化 堀内 雄介 (富山県立大学大学院)
BP11	SOIL EROSION ASSESSMENT ON THE INFLUENCE OF CLIMATE CHANGE IMPACT SHARA GRACE C. ASTILLERO (HOKKAIDO UNIVERSITY)
BP12	東北地方の貯水池における地域特徴と化学流出成分の比較検討 川越 清樹 (福島大学共生システム理工学類)
BP13	MOTIVATION FOR WASTE SEPARATION AMONG HANOI CITIZENS MY LINH NGUYEN (TOYO UNIVERSITY)
BP14	CHALLENGES IN WASTE MANAGEMENT FACED BY AN ISLAND STATE - A CASE STUDY IN SEYCHELLES - SOLENN LE BORGNE (TOYO UNIVERSITY)
BP15	冬季、札幌における微小粒子状物質の 個人曝露と大気濃度との関係 栗林 雄一 (北海道大学大学院工学院環境創生工学専攻)

BP16	ADCP 係留ボート構造の違いが流速値に与える不確実性評価 新井 章珣 (富山県立大学大学院)
BP17	風車騒音による睡眠影響のハザードマップ作成 鍛冶 光岐 (北海道大学大学院工学院環境創生工学専攻)
BP18	旧富山市域における洪水浸水想定と社会経済の関係 奥野 佑太 (富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科)
BP19	イタセンパラ生息河川の灌漑・非灌漑期における水理・水質特性 辺 冠臻 (富山県立大学大学院)
BP20	地域での地球温暖化防止に係る普及啓発活動事例ー地域地球温暖化防止活動推進センターの 取組みー 岩崎 慶太 (一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)
BP21	透過型砂防堰堤の土石流捕捉性能に関する研究 合田 明弘 (中央大学)
BP22	深層学習を用いた降水量の季節予報モデルにおけるモデルパラメーターによる感度分析 善光寺 慎悟 (富山県立大学大学院工学専攻科環境工学専攻)
BP23	地物データ GIS を利用した雨水管路網の構築手法について 天口 英雄 (首都大学東京)

【一般公開シンポジウム】『SDGs 未来都市とやまから日本の未来を探る』

日時：8月28日（水）13：00～17：30（12：30開場）

会場：富山国際会議場メインホール

基調講演

九里 徳泰氏（相模女子大学教授、富山市政策参与）

「国連SDGsの未来社会への貢献—富山から、日本から」

事例紹介

上坂 博亨氏（富山国際大学教授）

「富山県の自然エネルギーを活用した地域づくり」

市森 友明氏（富山県小水力利用促進協議会会長）

「富山県企業の小水力発電への取り組み—県内から東南アジアへ—」

坂井 宏幸氏（富山県企業局参事・電気課長・新エネルギー開発班長）

「富山県における地熱発電開発の推進について」

脇坂 暢 氏（富山県立大学教授）

「水素エネルギーと富山県の取り組み」

SDGs 座談会

コーディネーター：

荒巻 俊也氏（東洋大学教授、土木学会地球環境委員会政策研究小委員会・委員長）

パネリスト：

森 雅志氏（富山市長）

九里 徳泰氏（相模女子大学教授、富山市政策参与）

上坂 博亨氏（富山国際大学教授）

市森 友明氏（富山県小水力利用促進協議会会長）

坂井 宏幸氏（富山県企業局参事・電気課長・新エネルギー開発班長）

脇坂 暢 氏（富山県立大学教授）

【懇親会のご案内】

会場：COMPACT DELI TOYAMA [コンパクト デリ トヤマ]

会費：4,980円 ※交流会の受付は当日のみとなります

できる限り事前に下記登録サイトで出席登録にご協力ください。

<https://forms.gle/ExDnXJsAaEjff3Gt7>

■第 27 回地球環境シンポジウム 業界・教育研究機関案内 協賛組織（50 音順）

一般財団法人電力中央研究所

株式会社ウエノ

株式会社エックス都市研究所

株式会社建設環境研究所

株式会社新日本コンサルタント

株式会社牧田組

社会マネジメントシステム研究センター

ダイチ株式会社

大日本コンサルタント株式会社

中央開発株式会社

辻建設株式会社

ヒト自然系 GIS ラボ

前田工織株式会社

丸新志鷹建設株式会社

【CPD 単位取得について】

シンポジウムへの参加により、CPD 単位が取得できます。認定番号や単位数についての詳細は、ホームページをご覧ください。

第 27 回地球環境シンポジウムの最新情報は、下記ホームページをご覧ください。

地球環境委員会ホームページ <http://committees.jsce.or.jp/global/>

（公社）土木学会地球環境委員会